

を力に、

経験を行動に。

き か わ



自民党 推薦

前多古町教育長

vol.2

利川 前多古町教育長 VOL.2

討議資料

動かす町政、開く未来！

木川きみこです “**きっと かえます わが町を**” 暮らしの安心を守りながら、未来へ進むまちづくりに取り組みます



暮らしに寄り添う6つの視点

多古町は、成田空港「第2の開港」や民間企業による開発など大きな転換期を迎えています。
自然環境、歴史・文化遺産を守りつつ、その追い風を最大限に生かしながら、町民の暮らし、福祉の向上、活気あるまちづくりに向け着実に前進します。
千葉県職員として41年、多古町教育長として3年勤務した経験と行政力で、誠実に取り組みます。

1 誰もが住みやすく誇りを持てるまちへ

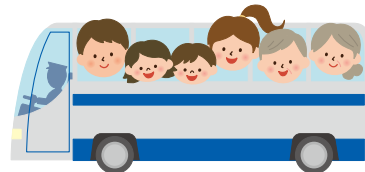
令和7年3月策定の町総合計画の町民アンケート（以下、「町民アンケート」）によると、大きな課題として上がっているものに「公共交通の利便性確保、町内外へのアクセス確保」があります。

町民の声は… 「循環バスを復活させてほしい」

「多古台に行くよりも直接空港に行ったほうが早い」（久賀地区）

「歳とって車に乗れなくなったらどうしよう…」

- 循環バスやライドシェアの導入検討による移動手段の確保
- Uターン、Iターン、Jターンへの支援
- 空港圏近隣市町との連携による交通・インフラ整備



2 子育ての不安を減らし、3つのゼロから6つのゼロへ

子どもたちが、そのおかれた環境に左右されることなく、夢や希望をもって成長できるよう、妊娠期から子育て期、そして学校教育まで切れ目なく支える体制を整え、安心して子どもを育てられる環境づくりを進めます。

- 保育料の無償化、多古中学校制服上下及び修学旅行の無償化
- インフルエンザ予防接種の助成
- 子どもの居場所づくりの推進



3 自分らしく生きがいをもって暮らせるまちへ

多古町の高齢者のみ世帯は1190世帯であり、5年前よりも178世帯の増加、今後さらに増加が見込まれ、見守り体制の充実が必要です。多古町の令和7年4月現在の高齢化率は約4割。一方で、高齢化率に対し、介護保険の認定者が少ないのは多古町の強味です。

- 介護保険料の引き下げまたは据え置き
- 介護予防ボランティアポイント制度の導入
- 高齢者の見守り体制の強化



4 安全・安心を守れるまちへ

町民アンケートによると、「災害対策・消防、防犯対策、交通安全対策の推進」は、重要度が高いという結果でした。集中豪雨が増加していることや多古町は、高齢者のみ世帯が増加していることから対策が重要です。

- 国道の機能強化（一部複線化）の促進
- 地域防災・防犯力の底上げ（訓練・教育・連携）
- 老朽インフラの計画的更新（道路・水道）



5 産業が充実し活気があるまちへ

町民アンケートによると、町の農業を元気にしていくためには、多古米のブランド化や6次産業化が重要という結果が出ています。

また、町民からは、成田空港「第2の開港」の好機に企業誘致を推進することは重要。町の人口も増え活気が出てくるのでぜひ進めてほしいという声もあります。

- PFIを活用した多古インター周辺の開発
- 道の駅の機能充実（地場産品加工品の拡充、出品者支援等）
- ふるさと納税倍増

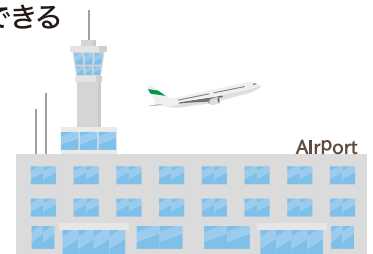


6 共生から未来へ（成田空港「第2の開港」と民間開発）

成田空港と民間開発の恩恵も負担も見つめ、町民の暮らしの充実と町の発展の両立をめざします。町民の声を誠実に聴き、説明責任を果たしながら、納得できる地域づくりを進めます。

また、移転等により住民が減少した地域への支援を丁寧に行います。

- 騒音や環境対策の充実で安心できる生活環境づくり
- 交付金の見える化と効果ある活用
- 移転地域お助け担当係の設置



今後、皆さんの声を聴きながら、さらに施策を充実させていきます。御意見、御要望をお寄せください。